



SISTER CITIES NEWS

姉妹・友好都市ニュース

International Friendship Association of Ibaraki
Vol.85 2026.3.19
茨木市国際親善城市協会



大分県竹田市 表敬訪問

CONTENTS — 目 次 —

- 竹田市への市民訪問団を派遣しました 2
- 姉妹・友好都市との絵画・書の交換事業について 3
- 第32回国際交流の集いを開催しました 4
- 一般社団法人茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業報告 5
- 第42回 茨木市国際親善都市協会英語スピーチ大会 6
- 通訳ボランティア制度・活動団体を紹介します! 7
- 姉妹都市小豆島町・歴史文化姉妹都市竹田市の宿泊施設利用補助制度について
茨木市国際親善都市協会のホームページ・インスタグラムをご覧ください!!
MINNIBARAKIに記事を投稿してみませんか? 8

竹田市への市民訪問団を派遣しました

令和7年11月16日(日)～18日(火)の日程で、本協会の城谷会長をはじめとする15人の市民訪問団が歴史文化姉妹都市の大分県竹田市を訪れました。

今年度はコロナウイルスの影響を全く受けず、前回の訪問団よりも参加人数を増やした形での派遣となりました。訪問期間中、天候にも恵まれ、両市の友好を改めて深めることのできた3日間でした。その様子をご紹介します。

11月16日(日)

16日(日)の夜、神戸港からフェリーで出発し、竹田市への期待に胸を膨らませながら、フェリーでの食事を楽しみました。明石海峡大橋をくぐる際は大変盛り上がりました。

11月17日(月)

竹田市役所にて、市職員の方々による熱烈な歓迎の中、表敬訪問を行いました。土居市長からは、竹田市の印象や観光地・名産品についてお話しいただきました。

表敬訪問の後は、「国指定史跡・岡城跡」を訪問し、竹田市の学芸員の方の説明を受けながら、大変美しい石垣と山城からの眺めを堪能しました。

この日の昼食会場の「茶房だんだん」では、「栗おこわ御膳」をいただきました。店主の方が、茨木市と中川氏にまつわる縁や竹田市の銘菓につい



岡城跡



栗おこわ御膳

て大変詳しく説明してくださいました。

城下町散策の後、「由学館」を訪問し、竹田市の各種文化財の館内展示を見学しました。展示物も大変古く貴重なものから現代の岡城跡保全の記録まであり、歴史についての理解が深まりました。

「滝廉太郎記念館」では、滝の生涯を説明する動画を視聴し、非常に短いながらも、日本音楽史において大きな影響を残した数奇な生涯に心打たれた方も多かったようでした。



白水ダム



由学館

2日目最後に訪れた白水ダムは大変美しく、流れ落ちる水はまるで白いレースのようでした。ある団員は「ビールの泡に見える。夕食が楽しみ！」とおっしゃっていました。

11月18日(火)

18日(火)の午前中は、車窓から九重連山の景色眺めながら、「ガンジー牧場」、「久住ワイナリー」、「道の駅たけた」を訪れました。

訪問団の皆様は、ワインの試飲やお土産の買い物等、十分に満喫されておりました。

この日の昼食は、人気店「竹田丸福 古町店」で、竹田名物の「唐揚げ定食」を味わいました。ボリューム満点の定食に皆様大満足でした。

熊本空港から伊丹空港へ到着し、無事に市民訪問団の日程が終了しました。



久住ワイナリー



竹田丸福 古町店

この度の訪問では、バスの手配や引率等、竹田市職員の方々に多大なご協力をいただきました。

大変お忙しい中ご対応くださり、感謝の念に堪えません。

コロナ禍を経て、久々の大人数での市民訪問団の実施であり、団員の皆様には「歴史文化姉妹都市竹田市」の魅力を改めて感じていただけたように思います。

今後も、交流の絆をつないでいくべく、次回も多くの皆様にご参加いただきたいと思います。

(当協会事務局)

姉妹・友好都市との絵画・書の交換事業について

姉妹・友好都市交流の一環として、小豆島町・ミネアポリス市・安慶市等と絵画・書の交換を行っております。

今年は、茨木市内の園児・児童から合計39点の作品が集まり、これらの作品を、小豆島町へ22点、ミネアポリス市へ22点、安慶市へ9点、昌原市へ8点をそれぞれの都市との友好と親善の輪がより一層広がることを願い送付しました。各都市等へ送った茨木市のこどもたちによる作品は現地で市民の方に向けて展示され、大好評であったようです！

(※ミネアポリス市へは小豆島町より戻ってきた作品を、昌原市へは民間交流があるため、それぞれ送付しています)

また、小豆島町・安慶市からは、同町・同市のこどもたちの作品が届き、第67回茨木市総合展にて展示しました。



小豆島町のこどもたちの作品：39点

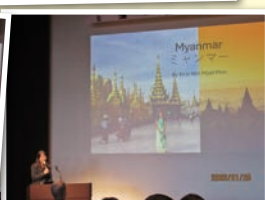


安慶市のこどもたちの作品：15点

第32回国際交流の集いを開催しました

令和8年1月25日(日)に第32回国際交流の集いを開催しました！
「おにクル」で3回目の開催となり、たくさんの来場者で賑わいました。

きたしんホールでは、早稲田大阪高等学校チアダンス部の生徒によるオープニングダンスから始まり、日本語スピーチコンテスト、昨秋開催の英語スピーチ大会の優勝者によるスピーチ発表、実用日本語学習会・立命館大学による外国文化紹介、ミネアポリス市からの茨木高等学校への留学生による留学生活紹介、福井高等学校による中国とネパールのダンスや獅子舞など、国際色豊かなステージが繰り広げられました。司会は、早稲田大阪高等学校の生徒が頑張ってくれました。



日本語スピーチコンテスト



英語スピーチ発表



後半は追手門学院中・高等学校、追手門学院大学、福井高等学校、茨木西高等学校、茨木高等学校、早稲田大阪高等学校、春日丘高等学校によるブースの出展、モンゴル衣装体験、多言語の絵本紹介がありました。来場者の皆様は、各ブースで楽しそうに製作やクイズに参加したり、芝生風カーペットでくつろぎながら楽しむ様子が見られました。また、和室での着物着付け体験では多くの外国人の方に着物を体験していただき、会場を華やかに彩ってくれました。



エントランス広場では、アイリッシュ音楽の演奏、大阪国際文化協会による多言語パネルシアター・絵本紹介、本協会の青少年活動室、姉妹都市活動室、実用日本語学習会学習による活動PRや紹介パネルの展示を行いました。

オープンギャラリーでは、大阪茨木モスクによるイスラム文化紹介ブース、早稲田大阪高等学校のお茶点で体験ブース、被災地支援物産品販売、大阪出入国管理局のブース、茨木市外国人相談窓口ブースを設置し、大変盛況でした。

大屋根広場では、もちつき体験、ケバブ、ネパールカレー、パインミーなどの多国籍料理のキッチンカー販売で食文化を体験いただきました。今年はぜひに加え、初めてチゲスープを配布し、特に外国人の方に大変好評をいただきました。来場者の皆様は、会場内で飲食しながら、おしゃべりしたり、音楽に耳を傾けたりと交流を深め、楽しい時間を過ごしていました。



一般社団法人茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業報告

当基金では、茨木市国際親善都市協会主催、共催事業や、海外や国内外姉妹都市等でのスポーツ・文化交流に参加する市内の青少年（満24歳以下）または青少年団体などに助成しています。

【ラボ国際交流】

日程：令和7年3月26日～4月4日（一般社団法人 ラボ国際交流センター）

【2025 ICU世界チアリーディング選手権大会・THE DANCE WORLD】

日程：令和7年4月23日～4月28日（WORLD WINGS）

【ラボ国際交流】

日程：令和7年7月22日～4月28日（一般社団法人 ラボ国際交流センター）

【2025フォルモサS インターナショナルチャンピオンシップ】

日程：令和7年7月28日～8月4日（太田FC）

【第5回オーストラリア語学研修】

日程：令和7年8月1日～8月9日（大阪府立春日丘高等学校）

【オーブフレンドリーマッチ小学生バレーボール交流会】

日程：令和7年11月8日～11月9日（玉櫛スポーツバレーボールクラブ）

【Beyond_i in Singapore】

日程：令和8年3月4日～9日（大阪府立茨木高等学校）

【マグダレナ・フェスティバル第34回国際音楽祭】

日程：令和8年3月10日～3月19日（早稲田大阪高等学校）

第42回 茨木市国際親善都市協会英語スピーチ大会

令和7年10月19日(日)に茨木市、茨木市教育委員会、本協会の共催による第42回茨木市国際親善都市協会英語スピーチ大会を開催しました。今年は、中学生15人・高校生8人の方に出場いただきました。中学生は指定暗唱文「Friendship beyond Time and Borders」(中学生2年生向け教科書『Sunshine English Course 2』から引用)を、高校生は自分で考えたスピーチを披露しました。緊張感のある会場の中、一人ひとりが堂々とスピーチされている姿は大変立派でした! 審査員の先生方からは「毎年出場者のレベルが上がっている」等の講評をいただき、素晴らしい大会となりました。優勝者には、姉妹都市であるミネアポリス市からいただいたトロフィーが贈られました!

中学生の部 指定暗唱文「Friendship beyond Time and Borders」

第1位 ^{じょん}全 ^{じょん}ドリムさん 茨木市立彩都西中学校 3年生

第2位 ^{はた}畑 ^{くるみ}来実さん 梅花中学校 3年生

第3位 ^{やまなか}山中 ^{ゆき}結葵さん 茨木市立西陵中学校 1年生



高校生の部

第1位 ^{サブコタ}Sapkota ^{ブラガティ}Pragatiさん 大阪府立福井高等学校 2年生
More Than Perfect / パーフェクト以上って?

第2位 ^{やまぎし}山岸 ^{あおり}亜織さん 大阪府立春日丘高等学校 1年生
Are Short Videos Harmful? / ショートは悪なのか

第3位 ^{こしみず}越水 ^{りょうすけ}涼介さん 大阪府立北摂つばさ高等学校 3年生
That's why I love Basketball / バスケットを好きな理由



中学生暗唱文 Friendship beyond Time and Borders

In March 1985, Iran and Iraq were at war. The president of Iraq said, "From March 19, the air above Iran will be a no-fly zone. We will shoot down all planes." Many countries sent planes to rescue their people in Iran. The planes landed one after another.

At the airport, a lot of Japanese people waited and waited, but no planes came for them. Time was running short. Suddenly two Turkish planes came to rescue them. They took all 215 Japanese out of Iran. Japanese people couldn't believe it. Why Turkish planes?

More than 130 years ago, a Turkish ship came to Japan on a goodwill mission. However, on the way back to Turkey, the ship met a strong typhoon. It sank off the coast of Wakayama, and 587 people died.

People in a nearby fishing village rescued 69 survivors. They didn't understand Turkish. They didn't have enough food. But they gave their last chickens to the survivors. They also buried the dead respectfully.

After that, the survivors stayed in a hospital in Kobe for about a month. Then they left for home on two Japanese ships.

"Turkish people still remember the story. Even children know it. So Turkish planes flew to rescue the Japanese in Iran", a former ambassador to Japan said.

The friendship between the two countries still continues today. When a big earthquake hit Turkey in 1999, Japanese people went there to help. In 2011, a big earthquake and tsunami hit eastern Japan. This time, Turkish people came to help. We can make a better world by helping each other outside our borders.

《出典》中学生2年生向け教科書『Sunshine English Course 2』から引用しています。

通訳ボランティア制度・活動団体を紹介します!

通訳ボランティアにご協力ください!

あなたの外国語の語学力で、茨木市の地域国際化にご協力ください!

日本語が不慣れなため、行政手続き等で困っておられる外国人の方々のため、本協会には「通訳ボランティア登録制度」があります(^ ^)!ご登録いただいた後は、ご都合に合わせて無理なく活動していただけます♪少しでも関心をお持ちの方は、ぜひ本協会までお問い合わせください☆

通訳内容 ▶ 行政手続きや行政に関する相談の通訳や、チラシ等の翻訳(日本語から外国語への訳)

対象 ▶ 日本語・外国語の読み書き・日常会話ができ、手続き等の通訳やチラシの翻訳ができる方

登録方法 ▶ 登録申請書にご記入いただき、窓口・メール・FAXで、茨木市国際親善都市協会事務局までご提出ください

ご登録いただくと、必ず依頼を引き受けなければならないわけではありません。まずご都合をお伺いし、活動に関しての日時や期間など相談にも乗らせていただきます♪



WE ARE FRIENDS!

「WE ARE FRIENDS!」では、ゲームなどを通して英語に親しむことができます♪ハロウィンパーティーやクリスマスクラフトなど、楽しいイベントが盛りだくさんです(*^▽^*)外国の文化も知ることができますし、新しいお友達もたくさんできちゃいます☆英語って苦手だなあ…というお子さんも、日本人スタッフが優しくサポートしますので、お気軽に遊びに来てくださいね!

講師 ▶ ^{ひさのり}久徳ウエンディ先生

日程 ▶ 原則 2,3,4,5,7,9,10,12月の第3日曜日

対象 ▶ 小学3年生～中学3年生

参加費 ▶ 300円(協会会員は無料)

申込方法 ▶ 偶数月初めから本協会事務局まで電話または偶数月の市広報誌に掲載している二次元コードで申込み



クリスマスクラフトを作りました♪
留学生スタッフの3人も参加してくれました!

Ibaraki Intercultural Network(IIN)

姉妹都市活動室(IIN)

姉妹都市活動室では、各国からゲストを招き英語でのスピーチを聞く例会を行い、国際交流を深めるための英語力を養っています♪また、茨木市の各名所の歴史を紐解き、その所以や由来などを英語で伝えられるよう、たくさん調べて積極的に活動しています!ぜひ一緒に活動してみませんか?

Zoomを活用してミネアポリス市とオンラインで繋ぎ、定期的なミーティングを行い、日本文化を伝えたり、茨木市の見どころを紹介したり、姉妹都市交流も楽しみながら継続中☆

例会日程 ▶ (8月を除き毎月実施)
第1木曜日: 9時30分～11時30分
第3土曜日: 14時～16時

場所 ▶ 茨木市立男女共生センター等

年会費 ▶ 3,000円(入会の際には、本協会の会員になる必要があります)

ホームページ <http://www.ibaraki-city-iin.com/>

学生、留学生、地域在住の外国人の皆さんも、どうぞお気軽にご参加ください(*^▽^*)

実用日本語学習会

日本語を母語としない方を対象に、基本的にマンツーマンで日本語学習の支援を行っております。マンツーマンだからこそ、いつでも、だれでも、自分のレベルに合わせて学習を始めることができます♪

オンライン学習と対面学習での学習会を実施しています!(^ ^)!
日本語を勉強したい外国人の方、日本語学習の支援を求めている外国人をご存知の方、ぜひお気軽にお問い合わせくださいね。お待ちしております!

と き ▶ 木曜クラス: 13時30分～15時00分
金曜クラス: 10時00分～11時30分
※オンライン学習の授業時間は60分

と ころ ▶ 文化・子育て複合施設おにクル等
(対面学習の場合)

ひ ゃ う ▶ 学習者2,000円(1期1クラス分)
※テキストは実費です。

ホームページ <http://www.ibaraki-nihongo.sakura.ne.jp/>

※内容に変更がある可能性があります。詳しくはお問い合わせください。

●通訳ボランティア制度・各活動団体について、れんらくするところ

茨木市国際親善都市協会事務局 TEL 072-620-1810 FAX 072-622-7202 mail: cadifai@city.ibaraki.lg.jp

姉妹都市小豆島町・歴史文化姉妹都市竹田市の宿泊施設利用補助制度について

茨木市民の方は姉妹都市小豆島町、竹田市に宿泊される場合宿泊費用の一部負担制度があります。

対象 小学生以上の茨木市民

回数 年度内に各市・町で1回

宿泊施設 茨木市の指定宿泊施設（詳しくは茨木市HPへ）

補助額 小豆島町→中学生以上2,000円・小学生1,500円

*小豆島には小豆島町と土庄町の2つの町があります。

小豆島町にある宿泊施設のみが補助の対象になりますのでご注意ください。

竹田市→中学生以上5,000円・小学生3,000円

小豆島町



竹田市



茨木市HP「小豆島町・竹田市
宿泊施設利用補助制度」ページ
のQRコードはこちら

茨木市国際親善都市協会のホームページ・Instagramをご覧ください!!

協会ホームページでは、「新着情報」・「募集情報」など、協会のイベントの情報を発信しています。また、姉妹都市活動室や実用日本語学習会のページ、多言語での情報発信をしているページの情報なども掲載しています。ぜひチェックしてみてください!

茨木市国際親善都市協会ホームページ
<https://www.ifai.jp/>



また、協会のInstagramを開けました!
イベント情報などを投稿していきますので、ぜひフォローをお願いします!



MINNIBARAKI に記事を投稿してみませんか?

MINNIBARAKIとはMISCA(ミネアポリス市・茨木市姉妹都市協会)の皆さんが作成されているニュースレターのことです。現在2月、5月、8月、11月の年4回発行されています。協会会員の皆様もミネアポリス市のみなさんにメッセージを送ってみませんか?

ミネアポリス市との交流に関すること、日本文化の紹介、ご自身の国際体験など、ミネアポリス市のみなさんに読んでみたい内容なら何でもOK!写真を一緒に掲載することもできます♪なお、応募原稿は全て英語でお願いします☆皆様からのご応募お待ちしております♪

応募方法 申込書・応募原稿を協会事務局へメールで提出(申込書は協会HPからダウンロード、または窓口で配布)

応募締切 各号の3か月前の月末(例:11月号への応募なら8月未まで)
※発行状況によって変更になる可能性があります。

応募原稿について詳しくは本協会HPのMINNIBARAKIのページをご覧ください。▶



茨木市国際親善都市協会 会員募集!!

本協会では、茨木市の姉妹・友好都市をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方の入会をお待ちしています。

会員のみなさまには、協会が催す交流行事のご案内や、協会主催事業への参加費の一部助成、また、年2回発行する協会報を送付しております。

主な 国際交流の集い

活動内容 姉妹・友好都市への市民親善訪問
中・高校生の「英語スピーチ大会」など

年会費 個人会員:(一般) 2,000円 (学生) 1,000円
団体会員:一口5,000円

申込先 本協会事務局(茨木市文化振興課内) TEL 072-620-1810

協会ホームページ: <https://www.ifai.jp/>

編集・発行

茨木市国際親善都市協会

〒567-8505 茨木市駅前三丁目8番13号 茨木市文化振興課内
TEL.072-620-1810 FAX.072-622-7202 ホームページアドレス <https://www.ifai.jp/>

